

| No. | ご意見の内容  | 長崎市の考え方   |
|-----|---|---|
| 1   | <p>長崎市で子育てをして10年目になります。他の都道府県と比べて、長崎の子育てに対する支援の無さを痛感しています。これでは他県に人口流失していくのも納得です。まず県整体的に収入が低過ぎます。給与、時給のベースアップをするべきです。その一方、生活していく中で家賃、駐車場料金、ガソリン代、光熱費、水道代、物価全てが高過ぎます！市役所、子育て支援センター、図書館に行くのに高い駐車場料金がかかったり、子供の医療費が無料ではない事が信じられません。私は小学生と未就学児の四人の子供がおりますが、生活はとても苦しく、食べさせていくだけで精一杯です。</p> <p>コドモンの子育てアンケートにも回答し、結果も拝見しましたが「長崎市は子育てしにくい」という意見が多かったです。ただアンケートをとって終わりではなく、市民の意見を真摯に受け止めて、問題解決のために素早く実行して欲しいです！</p> | <p>長崎市における子育て支援への取組みにつきましては、「長崎市第五次総合計画」、「第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき取組んでおり、その中で子育て支援については、「子どもをみんなで育てる 子育てしやすいまち」を目標に掲げ、子育て家庭などの市民のニーズを踏まえながら、時間や場所の切れ目のない支援に取組むことで、安心して子育てができる環境づくりに努めているところです。</p> <p>そのようななかで、長崎市では様々な子育て支援の取組みを行っていますが、市独自においても、子ども福祉医療費助成の対象を中学校卒業までの入院と通院まで拡大したほか、保育所の保育料や放課後児童クラブの利用料の減免措置の拡大、家族の支え合いによる子育てをしやすい環境をつくるため、多子世帯又は三世帯で同居もしくは近居するための中古住宅の取得および住宅改修費用の一部を助成するなど、経済的負担の軽減に努めています。</p> <p>なお、長崎県が県内全市町の高校生世代を対象とする新たな子どもの医療費助成制度を創設することから、同制度に基づき、本市においても高校生世代の医療費の助成を実施することとしています。</p> <p>また、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、物価高騰の影響による子育て家庭の負担軽減を図るため、国の制度で支援が届いていない、就学援助相当世帯や安心して出産を迎えていただくように妊婦への給付金を実施しているところです。</p> <p>子ども福祉医療費の無料化にあたっては、新たな財政負担が生じることから、限られた財源の中で、どの施策が効果的であるかを十分に見極めながら、子育て支援の充実に取組む必要があると考えているところです。今後とも、子どもや子育て支援に関する施策は、福祉、教育、雇用など問題が多岐に渡るため、関係部局において緊密な連携を図り、今後とも市民ニーズなどの現状や国の動向などをしっかり把握しながら、子育てに関する情報発信を行い、子育て家庭から「子育てしやすいまち」と感じていただけるよう取組んでまいります。</p> |
| 2   | <p>子どもの貧困対策は重要と思います。であれば明石市の様に、全ての子供たちが恩恵を受けられる教育費無償、医療費無償を検討しては如何か？そうなれば隔てなく子供たちに平等に支援を行うことになるであろう。それによって支援、相談のしやすさなどの問題は無くなるであろう。また行政の業務量も軽減出来るであろう。</p> <p>食に関しての援助は、早急に絶えず日々行うべきであろう。食品購入にしか使用できない地域クーポンを配布しては如何か？地域の一次産業、小売業も地産地消という意味では大きな経済的見返りもある。また子供食堂を行政の事業として整備し運営する事を切に願う。民間、ボランティアでは限度がある。これこそ行政で行ってほしい事業と子ども食堂運営関係者から良く耳にする内容である。</p>  | <p>長崎市では、教育費負担の軽減として、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者等に対して学用品費や修学旅行費、給食費などを援助、補助する制度があり、生活困窮世帯やひとり親家庭への進学費用等の負担軽減も行っています。</p> <p>また、経済的負担の軽減として、子ども福祉医療費助成の対象を中学校卒業までの入院と通院まで拡大したほか、長崎県が県内全市町の高校生世代を対象とする新たな子どもの医療費助成制度を創設することから、同制度に基づき、本市においても高校生世代の医療費の助成を実施することとしています。</p> <p>学校給食費や子ども福祉医療費の無償化にあたっては、新たな財政負担が生じることから、限られた財源の中で、どの施策が効果的であるかを十分に見極めながら、子育て支援の充実に取り組む必要があると考えています。学校給食費の保護者負担軽減のための支援措置や、福祉医療費については、全国どこに住んでいても同じ助成制度の中で、安心して医療を受けられる国の制度として創設していただくよう、関係機関を通して国へも要望しています。</p> <p>子ども食堂については、既に民間主導で実施されており「長崎市子ども食堂ネットワーク」が設立され、情報提供やサポートなども行われております。長崎市では子ども食堂の活動を始めたいと考えているかたにアドバイザーを派遣し、開設を検討している個人・団体からの相談に応じ、助言、情報提供等を行うことにより、開設を支援しています。子ども食堂のありかたは様々な形態があるため、長崎市としては、地域で子ども食堂の活動を始めたいと考えているかたを応援するとともに、すでに活動していただいている子ども食堂が継続しやすい環境づくりに努めるとともに、地域における子ども食堂との連携のあり方についても検討していきます。</p>   |
| 3   | <p>部活動への参加支援として部費や道具の補助などでできればいいと思います。</p>  | <p>長崎市では、「小中学校課外クラブ活動補助金」により、課外クラブの活動費に対する補助を、「学校体育振興費補助金」により、市外での大会等に参加する際の交通費および宿泊費、派遣費についての補助を行っております。</p> <p>なお、部活動の経費への支援ではないですが、経済的な理由で就学が困難な家庭に対しては、就学援助制度により就学にかかる経費の一部を助成しております。</p>   |